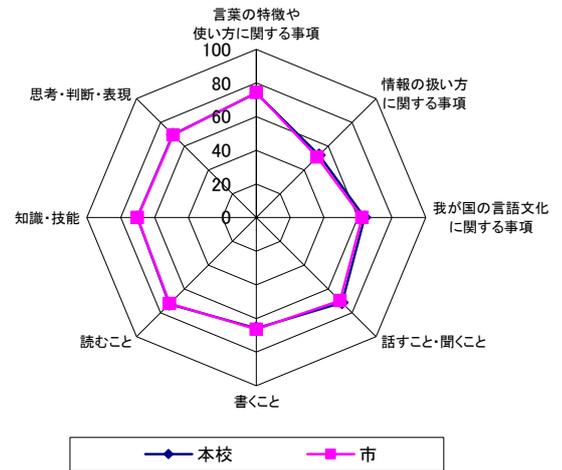


# 宇都宮市立雀宮南小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 74.1 | 74.3 | 74.8 |
|     | 情報の扱い方に関する事項    | 52.5 | 50.9 | 48.4 |
|     | 我が国の言語文化に関する事項  | 63.9 | 62.4 | 60.8 |
|     | 話すこと・聞くこと       | 71.6 | 69.9 | 69.7 |
|     | 書くこと            | 65.8 | 66.4 | 64.6 |
|     | 読むこと            | 72.7 | 72.3 | 71.0 |
| 観点別 | 知識・技能           | 70.3 | 70.1 | 70.0 |
|     | 思考・判断・表現        | 69.7 | 69.5 | 68.2 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

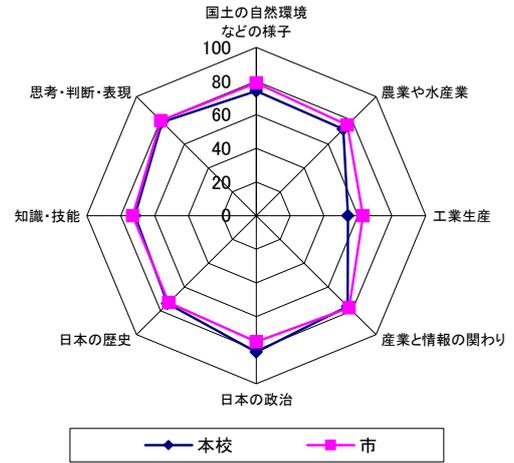
| 領域              | 本年度の状況  | 今後の指導の重点   |
|-----------------|---|--|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 平均正答率は、市の平均とほぼ同じ。<br>○第5・6学年に配当されている漢字の読み・書きについての正答率が高い。自主学习などを通して繰り返し漢字練習に取り組んできた成果であると考えられる。<br>●漢字を適切に使う問題への正答率が低く、文章の中で文脈に沿って漢字を使うことに課題が見られる。   | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・漢字のもつ意味や熟語などにも目を向け、漢字単体ではなく文章全体を意識しながら練習に取り組むようにすることで、文脈に沿った漢字を適切に使えるようにしていく。                       |
| 情報の扱い方に関する事項    | 平均正答率は、市の平均より高い。<br>○情報と情報の関係について理解し、目的に応じて文章の情報を整理する問題への正答率が高い。文章の読み取りの際、根拠となる文章を意識しながら読み取る取組の成果と考えられる。<br>●情報と情報の関係について理解し、文章を簡単に書く問題の正答率が低く、目的に応じた文章の書き方に課題が見られる。                          | ・条件に応じた文章を書く学習において、与えられた情報を整理する際に、不要な情報を書き加えていないか、敬体・常体の使い分けなどに着目しながら文章を書くようにすることで、目的に応じた文章を書く力の育成につなげるようにする。                    |
| 我が国の言語文化に関する事項  | 平均正答率は、市の平均より高い。<br>○漢字の由来を問う問題の正答率が高い。新出漢字の学習の際、部首や成り立ちにも目を向けて取り組んでいる練習の成果と考えられる。  | ・引き続き、国語の授業や自主学习の際、漢字練習にとどまらず漢字の成り立ちに着目しながら学習するように継続していく。  |
| 話すこと・聞くこと       | 平均正答率は、市の平均より高い。<br>○計画的に話し合い、考えを広げるための工夫を捉える問題の正答率が高く、話し合い活動の際、何を話し合えばよいのかを考えながら取り組んでいる成果と考えられる。<br>●互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合うことへの正答率が低く、目的からは外れてしまっている話し合いの修正の仕方に課題が見られる。                    | ・教科の時間にとどまらず学校生活の中での話し合い活動において、目的から外れたり方向性がずれたりしている場合、どのように指摘したらよいのか考えながら自分たちで修正するようにしていくことで、互いの立場や意図を明確にしながら話し合う力の育成につなげるようにする。 |
| 書くこと            | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>○表やグラフを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題の正答率が高い。国語の時間だけではなく、総合的な学習の時間など、調べたことを分かりやすく伝える技法について取り挙げた成果と考えられる。<br>●事実を基に自分の意見を明確に書くことへの正答率がやや低く、根拠となることを意識しながら文章を書くことへの課題が見られる。 | ・説得力をもたせた意見文を書く際には、自分の考えだけでなく、そう考えた根拠となることからも引用しながら書くようにすることで、事実を基に自分の考えを明確に書く力の育成につなげるようにする。                                    |
| 読むこと            | 平均正答率は、市の平均とほぼ同じ。<br>○登場人物の心情について、描写を基に捉える問題の正答率が高い。考えの根拠を、文章中から捉えるように取り組んできた成果と考えられる。<br>●文章を読んでまとめた感想を共有し自分の考えを広げる問題の正答率が低く、他者の考えを基に自分の考えを深めることに課題が見られる。                                    | ・意見交流の際、自分の考えを伝えるだけでなく、自分の意見と似ているところや異なるところを捉えながら聞き、再度考え直すようにすることで、自分の考えを広げる力の育成につなげるようにする。                                      |

# 宇都宮市立雀宮南小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

|     |              | 本年度  |      |      |
|-----|--------------|------|------|------|
|     |              | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 国土の自然環境などの様子 | 74.1 | 78.9 | 75.4 |
|     | 農業や水産業       | 72.7 | 76.1 | 71.2 |
|     | 工業生産         | 54.1 | 62.9 | 59.4 |
|     | 産業と情報の関わり    | 76.2 | 77.6 | 59.7 |
|     | 日本の政治        | 81.1 | 75.0 | 79.3 |
| 観点別 | 日本の歴史        | 74.0 | 73.1 | 72.8 |
|     | 知識・技能        | 71.7 | 73.0 | 71.4 |
|     | 思考・判断・表現     | 78.7 | 79.8 | 71.9 |
|     |              |      |      |      |
|     |              |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

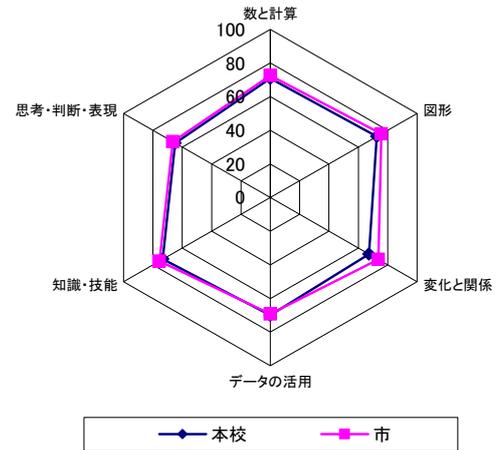
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域           | 本年度の状況  | 今後の指導の重点  |
|--------------|---|---|
| 国土の自然環境などの様子 | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>○津波から生活を守る取組について問う問題の正答率が高い。人々が行った震災復興に向けての取組を資料をもとに学習した成果であると考えられる。<br>●日本の主な山脈や平野の名称と位置を問う問題の正答率が低い。日本の主な地形について地図を用いて捉えることに課題が見られる。 | ・資料を読み取る活動に取り組む時間を意識的に多くする。その資料から分かることを児童同士で確認することにより、資料を深く読み取れるようにする。<br>・学習の中で都道府県、都市名が出てきた場合に地図帳で確認する。既習事項である国土の様子も振り返らせる時間を設け、日本国内の産業と結び付けて考えられるよう指導の充実を図る。 |
| 農業や水産業       | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>○米の生産量について表を読み取り、白地図にまとめる問題の正答率が高い。繰り返し都道府県の位置関係を学習している成果であると考えられる。<br>●日本の農業人口をめぐる課題について問う問題の正答率が低い。グラフから正しい情報を読み取ることに課題が見られる。       | ・複数資料から分かる課題を考える活動を取り入れる。個人で取り組む時間の後、児童間で説明し合う時間を設定することにより、考えを深め、説明する力の習得を図る。   |
| 工業生産         | 平均正答率は、市の平均より低い。<br>●工場についての理解をもとに資料を読み取る問題の正答率が低く、日本の大工場と中小工場についての現状把握に課題が見られる。  | ・資料の読み取りの際には、用語だけに限らず資料をもとに論理的に説明したり議論したりする活動を取り入れることで、資料を深く読み取る力の育成につながるようにする。   |
| 産業と情報の関わり    | 平均正答率は、市の平均よりやや低い。<br>○インターネットを利用するときの注意点を問う問題の正答率が高く、調べ学習の際には情報モラルについて触れてきた成果であると考えられる。<br>●情報が社会の様々な場面で活用されていることについて問う問題の正答率が低く、実生活に関連付けて考えることに課題が見られる。 | ・普段自分が使っているメディアの利点や問題点について、自分の経験から考える活動を積極的に取り入れる。<br>・情報メディアを今後どのように使用すれば自分たちの生活がさらに豊かなものになるのか考えるようにする。さらに児童間で意見交換をする時間を設けることで、今後の情報メディア利用の考えを深める時間を設ける。       |
| 日本の政治        | 平均正答率は、市の平均より高い。<br>○日本国憲法についての問題の正答率が高い。日本国憲法の三原則の成り立ちなどを、具体的な出来事と結び付けながら学習した成果が出ている。<br>●裁判の仕組みについての問題の正答率が低く、裁判所の果たす役割についての理解に課題が見られる。                 | ・裁判所の働きと国民の権利について、多面的・多角的に考えるようにすることで、裁判所と自分たちの生活が結び付いていることを捉えられるようにする。   |
| 日本の歴史        | 平均正答率は、市の平均より高い。<br>○歴史分野に関してはほとんど設問の正答率が高い。既習事項を意識的に復習している成果であると考えられる。<br>●武家諸法度についての問題の正答率が低く、制定した人物との関連付けに課題が見られる。                                     | ・自主学習を通して既習事項の復習を促すようにする。その際、学年だより等で周知し、家庭と連携して取り組むようにする。<br>・資料集を活用し、各時代に活躍した人物と功績を結び付けて学習できるようにする。また、児童自身が調べ学習をして、各時代の出来事を学び合う時間を多く設定できるようにする。                |

# 宇都宮市立雀宮南小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 数と計算     | 70.9 | 72.6 | 73.1 |
|     | 図形       | 72.5 | 75.7 | 74.7 |
|     | 変化と関係    | 67.2 | 73.6 | 66.1 |
|     | データの活用   | 69.9 | 69.2 | 70.7 |
| 観点別 | 知識・技能    | 73.3 | 75.5 | 74.4 |
|     | 思考・判断・表現 | 64.8 | 66.5 | 67.2 |
|     |          |      |      |      |



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。  
 (算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)

## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

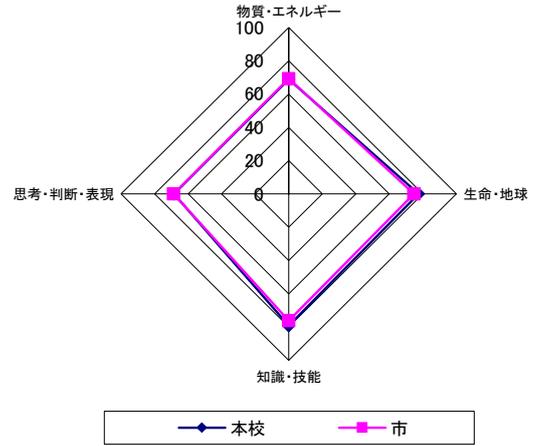
| 領域     | 本年度の状況   | 今後の指導の重点  |
|--------|--|---|
| 数と計算   | 平均正答率は、市の平均よりも低い。<br>○分数の足し算の計算の仕方を問う問題の正答率が高く、計算練習を繰り返し行ってきた成果と考えられる。<br>●1より小さい分数をかける乗法の問題場面を理解する問題の正答率が低く、数量の関係を数直線に表すことに課題が見られる。                                 | ・分数や小数などの数について、数直線や図で表しながら問題を解くようにすることで、積と被乗数の関係などを含めた数の大小について、実感をもてるようにする。                     |
| 図形     | 平均正答率は、市の平均よりも低い。<br>○三角柱の展開図から見取り図の辺の長さを求める問題の正答率が高く、デジタル教材などを通して、立体図形の見方を養った成果と考えられる。<br>●直方体を組み合わせた形の体積を求める問題の正答率が低く、複合図形の見方に課題が見られる。                             | ・複合図形の面積や体積を様々な解き方で解く練習問題を行うことで、一方向からの見方だけではなく、多面的に図形を捉えられるようにする。                               |
| 変化と関係  | 平均正答率は、市の平均よりも低い。<br>●単位量あたりの大きさや割合、速さについての問題の正答率が低く、単位量あたりの大きさの理解に課題が見られる。  | ・単位量あたりの大きさの考え方について図や数直線を用いて理解を促し、速さや割合を求められるようにする。   |
| データの活用 | 平均正答率は、市の平均よりもやや高い。<br>○ドットプロットや度数分布表から数値を読み取る問題の正答率が高く、代表値の意味を理解し、複数のデータを分析した成果であると考えられる。<br>●円グラフから割合を求める問題の正答率が低く、円グラフの示す数値の意味を捉えたり、数値から読み取れることを考えたりすることに課題が見られる。 | ・もとにする量の大きさが違うとき、割合の大小と比べる量の大小は一致しないことを理解できるようにするために、割合の意味を再確認したり、グラフから読み取れることを考える活動を設定するようにする。 |
|        |  |   |
|        |  |   |

# 宇都宮市立雀宮南小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 物質・エネルギー | 68.9 | 69.3 | 65.7 |
|     | 生命・地球    | 77.5 | 74.7 | 77.8 |
| 観点別 | 知識・技能    | 79.2 | 76.2 | 76.4 |
|     | 思考・判断・表現 | 68.4 | 68.7 | 68.6 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域       | 本年度の状況  | 今後の指導の重点   |
|----------|---|--|
| 物質・エネルギー | <p>平均正答率は、市の平均とほぼ同じ。</p> <p>○ろうそくの火が消えた理由についての考察を改善し、記述する問題の正答率が高い。複数の実験結果をもとに多面的に捉えることを意識して考察してきた成果であると考えられる。</p> <p>●ふりこのきまりを調べるための実験方法を計画する問題の正答率が低い。自分の予想や仮説をもとに実験計画を立案し、見通しをもつことへの課題が見られる。</p>         | <p>・「調べたいことへの予想や仮説をもち、それらを検証するために何を行いどんな結果が得られればよいのか、そして、実験結果から考察しまとめる」という流れを意識した授業展開を行うことで、問題解決の力を育成できるようにする。</p> |
| 生命・地球    | <p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○唾液のはたらきを調べるときの水の温度を問う問題や、実験の結果から考えられることを指摘する問題の正答率が高い。条件を意識して実験を行ったり、「結果」と「考察」の違いを意識してきた成果であると考えられる。</p> <p>●生物が取り入れたり出したりする気体の流れを問う問題の正答率が低い。目に見えない自然事象をイメージすることへの課題が見られる。</p> | <p>・図や記号などを用いたイメージ図を書き可視化する学習場面を設定することで、目に見えない自然事象を捉える力を育成できるようにする。</p>  |
|          |   |  |
|          |   |  |
|          |   |  |
|          |   |  |

## 宇都宮市立雀宮南小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組            | 取組の具体的な内容  | 取組に関わる調査結果   |
|-------------------|--|--|
| 板書の工夫             | 年度初めに教職員に、板書の仕方についての共通理解を図り、児童が見通しをもって学習に取り組めるようにするとともに、分かりやすいノート作りを図ってきた。         | めあて・まとめ・振り返りをノートに書く習慣が身に付いてきており、「授業で分かったことを分かりやすくノートにまとめている」と児童が増えつつある結果となった。        |
| 家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫 | 自主学習の具体的なメニュー例を児童に示したり、学年だよりの「学びのまど」で発信したり、よい例を取り上げて児童に示したりして家庭学習への意欲を高めるようにしている。□ | 家庭学習の習慣が少しずつ身に付き、平日休日も家庭学習時間を確保できるようになってきたことが「自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる」の肯定的回答にも表れてきている。 |

### ★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

- ・家庭学習において、自分で計画を立てて自主学習として取り組めるようにしていきたい。
- ・学年だよりの中に「学びの窓」のコーナーを作り、学習についての保護者の理解と協力が得られるようにする。
- ・学校と家での本に触れる機会・時間を増やしたい。
- ・自己肯定感を感じられるような環境作りに努めたい。
- ・タブレット導入に伴い、授業の中で有効活用し、学習意欲の向上と学力向上に努めたい。
- ・基礎・基本の定借に向けて、場の設定（朝の学習）や方法（タブレットの活用など）を工夫していく。